

## まなびや訪問

金融教育研究校・  
金銭教育研究校  
の紹介



アクセサリーの製作・販売(よごふるさと科)



余呉湖PR動画作り(よごふるさと科)



余呉湖



余呉湖を望む校舎



## 滋賀県 長浜市立余呉小中学校

滋賀県長浜市立余呉小中学校のある余呉町は、滋賀県の北部に位置し、柴田勝家3万と羽柴秀吉5万の軍勢による「賤ヶ岳しずがだけの合戦」の戦場としても有名です。校舎からは「日本のウユニ塩湖」<sup>※</sup>ともよばれる余呉湖を望むことができます。

本校は、2018年4月に滋賀県としては初となる施設一休型小中一貫教育校(義務教育学校)として開校しました。

そつした中、2018年度からの2年間、滋賀県金融広報委員会から金融教育研究校の委嘱を受け、何事も主体的に考え生き抜く力を身に付けられるように、余呉町への地域貢献などを通じてキャリア教育と金融教育の充実に向けて学校一丸となって取り組んでいます。

義務教育学校では、カリキュラム編成が柔軟に行える利点があることから、「よごふるさと科」という独自のカリキュラムを設け、その中で地元の余呉をテーマとして取り上げ、各学年

で町のよさや直面するさまざまな課題を学んでいます。

例えば5年生では、ゆるキャラのデザインを考えるとともに、缶バッジや顔出しパネルを作り、地元観光を盛り上げることに貢献しました。また、地元企業の協力を得ながらアクセサリーの製作・販売までを行うことで、原価計算などを通じて、お金の動きや価値を知りました。また7年生になると、海外からの旅行客向けに、より一層、町の魅力を分かちてもらえるように工夫しながら英語版のPRコミニシャルを手がけました。9年生では、「余呉を楽しむプロジェクト」と題し、9年間で学んだ総まとめとして余呉の現状や課題について、地域住民を招いた発表会やSNSを通じて広く発信しました。

こうして余呉のよさや魅力に関する理解を深め、少しでも地域の発展のために行動する生徒の育成をめざして教育に取り組んでいます。

※P2 表紙説明 参照